

ギリシャ危機による日本への影響

財政危機問題の発端

昨年 10 月 21 日、ギリシャ政府が発表した驚愕の数字だった。2008 年の財政赤字の実績と、09 年の財政赤字見通しを大幅に上方修正したのである。08 年の赤字の対 GDP 比率は **5.0%から 7.7%**に、09 年は **3.7%からなんと 12.5%**に修正された。

表あり

ユーロの対ドル、対円の推移

EU 加盟の条件
対 GDP で財政赤字比率を 3%以内であること

↓ しかし

ギリシャは一度も加盟条件に満たしていなかった

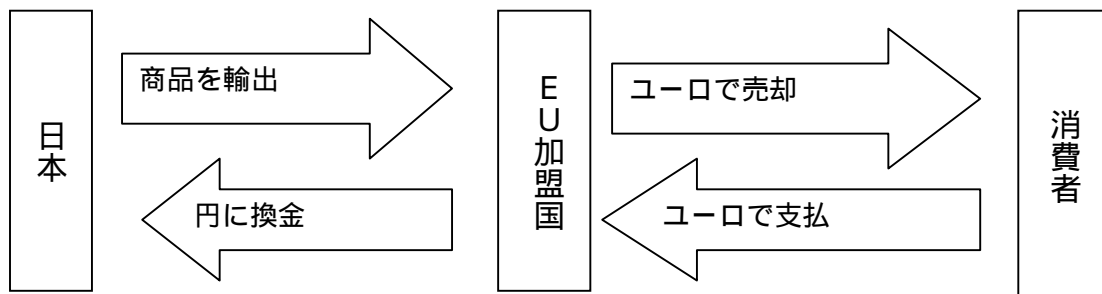
↓ そんな国と同じ紙幣（ユーロ）を他の国で使用しても大丈夫なのかという不安が発生

ユーロ紙幣の信頼度が低下
いまのユーロ紙幣の価値は本当に正しいのかわからなくなってしまった

大幅なユーロ安
円高が発生

日本企業の収益圧迫も

同じものを売っても利益が上がらなくなってしまう状況になってしまう



例) 100 ユーロで消費者に売却した場合

1 ユーロ = 120 円の場合 12,000 円で換金

1 ユーロ = 110 円の場合 11,000 円で換金

1000 円の損失

(担当: 高橋)